

患者さんへ

「進行直腸癌に対する術前治療成績の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2010年1月より2030年12月までに湘南鎌倉総合病院外科で手術を受けた進行直腸癌患者さん
2 研究目的・方法	<p>現代は日本人の2人に1人が何らかのがんにかかると言われており、その中でも大腸癌は罹患率が高い疾患です。男性は約10人に1人、女性では約12人に1人が、一生のうちに大腸がんにかかるとされています。大腸癌の中でも直腸癌は治療方法が難しく治療の結果、人工肛門となる場合や便通の変化など、治療内容により患者さんの日常生活に大きく影響を及ぼす可能性があります。近年、進行した直腸癌に対して手術前に放射線治療や化学療法を行うことで治療成績の向上や手術により失われる可能性がある機能の保持など、以前までの手術だけの治療から治療方法が大きく変化しています。もちろん術前治療には良い点ばかりではなく、治療による副作用も見られます。この研究は進行直腸癌に対する術前治療の有無でその治療成績を検討し、より良い治療を開発することを目的とします。</p> <p>研究の期間:施設院長承認後(2024年6月予定)～2035年12月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既に研究結果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、体重、検査所見、原疾患、術前治療有無、周術期成績、合併症、再発の有無、再発治療内容等
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 藤井正一 湘南鎌倉総合病院 外科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p>